



機会均等を否定 大学入試民間英語検定

28日、萩生田光一文部科学相が大学入試に導入される英語の民間試験をめくり、受験生に「身の丈に合わせて頑張る」と述べたことは、経済条件によって教育を受ける権利が左右されても構わないと言っているのに等しく、『貧乏人は麦を食え』以上に子どもたちの未来を閉ざす発言です。教育の機会均等をうたった憲法違反だ、大臣は即刻辞任すべきとの声も渦巻いています。

身の丈に合わせてろ 県議会も同調

●高知のような地方には受験会場がなく、受験料が2万5千円の高額となる、

全国高等学校長協会も、制度の見直しを求めていると、私たち議員団は文科省へ中止を求める議案を10月県議会に提案、米田みのる県議が提案討論に立ちました。

この英語の検定試験に関する文科省の作業部

会メンバーは、「ベネッセコーポレーション」やケンブリッジ大学英語検定機構、国際ビジネスコミュニケーション協会など、8人中5人が試験を実施する英語民間検定団体から出ています。受験生の機会均等より、業者利益を優先するものとして、中止を求めたにもかかわらず、自民党や公明党などの県議によって私たちの提案議案は否決されました。2021年度中止を求めて頑張ります。

行き届いた教育求めシンポジウム



●10月22日、子どもと教育を守る高知県連絡会議がオーテピアを会場にシンポを開催し、現場の先生や県教委の担当者が出席しました。

金も人も増やさず「現場の知恵と努力が足りん」と教職員に責任を押しつける安倍「働き方改革」の実態をそれぞれの発言で明らかにしました。1年単位の教員変形労働制などとんでもないし、授業のコマ数を減らし教員を増やす以外に解決策はないと感じました。

※県知事選と市長選があるため本ニュースは、24日付けまでお休みいたします。

無料法律・生活相談

- 11月6日(水)午後6時～8時
- 場所：愛宕商店街 吉良事務所
- 相談者：皿田幸憲弁護士(よつば法律事務所)

予約電話：088-823-9524 お気軽にご相談を。